

年頭所感等の読後感をいただいて見性院住職からの一言

他にも多数の方からの応援のお電話やメールをいただきました。本当にありがとうございました。すべてのご紹介は出来かねますが、この場を借りて厚く御礼申し上げます。思想・信条の全く異なる人達にいくら説明してもダメなものはダメということで、おかげさまで踏ん切りがつけました。村社会でしか生きてこなかった人、狭い世界だけの人、常識（教養）のない人達とは一線を画し、我が道をひたむきに生きること決めました。偏屈な人（江戸時代からの封建的な考え方を引きづっている）は、なかなか理解しようとしないうし自分の考え方が一番という思い込みだけで生きておられます。近隣寺院や宗務所に相談に行っても、所詮無駄だったことに今更気付いても遅いということです。見性院がやっていることこそが今の仏教界を救うことになることがなぜわからなかったのでしょうか。定年退職をしてやるのが何もなく人のおせっかいばかりしているようなお方には気をつけたいものです。

これから先祖に（お寺に）顔向け出来ない、子孫に迷惑がかかることになりかねないと思いますがお察し申し上げます。

今にして思えば明治・大正生まれの多くの人達はほんとうに偉かったし立派でした。やることもやったし物心両面で施しがありました。滅私奉公の人も多かったと思います。今の人には礼儀作法さえ出来ていない方が少なからずおられるのではないのでしょうか。ある意味、軍隊教育も時によかったのかなと思うことさえあります。失礼千万を省みず、一言申し上げさせていただきました。